

子を失う悲しみ 二度と



事件や事故、災害から子どもを守るべく、我が子を亡くした親たちが再発防止に取り組んでいる。悲劇が繰り返される現状を変えたいという。多くの小さな命も犠牲となった東日本大震災から3年半。文部科学省の審議会も16日、命を守る教育を強化する方針を示した。

「事故から命を守る」遺族ら活動

再発防止へ検証 「学会」立ち上げ議論

学校での事故などで子どもを亡くした親や専門家らでつくる「子ども安全学会」の初めての大会が7日、東京都内であった。再発防止策を考えようという中心になって立ち上げたのは東京都小金井市の吉川豊さん(44)、優子さん(43)夫婦。2年前に長男慎之介君(当時5)を水の事故で亡くした。7日は慎之介君の誕生日、小学2年生になっていくはずだった。「出張に行きます」。2012年7月、父親の口ぶりをまねた慎之介君は、通っていた私立幼稚園の約30人の園児らと初めての「お泊まり保育」に出かけた。ひょうきんで元気な男の子。ピアノを習い始めたばかりだった。

安全教育強化へ 悲劇、あとを絶たず

あつたをたない子どもの死亡事故をなくそうと、文部科学省の諮問機関・中央教育審議会は16日、子どもが事件や事故、災害から身を守るための教育を強化する方針を示した。日常生活に潜む様々な危険を予測することで、安全

栃木・群馬・埼玉 震度5弱

16日午後0時28分ごろ、茨城県南部を震源とする地震があり、栃木県南部、群馬県南部、埼玉県北部で震度5弱を観測し、東北地方



幼稚園の行事中の事故で亡くなった吉川慎之介君(吉川優子さん提供)の遺族の写真を語る母親の優子さん(東京都小金井市の自宅)

長は「プレート境界で発生したという点で茨城県南部で想定されている首都直下の地震と類似しているが、今回の地震が大きな地震につながるかどうかは分からない」と述べた。地震の揺れによる被害が

国民全体が関心を

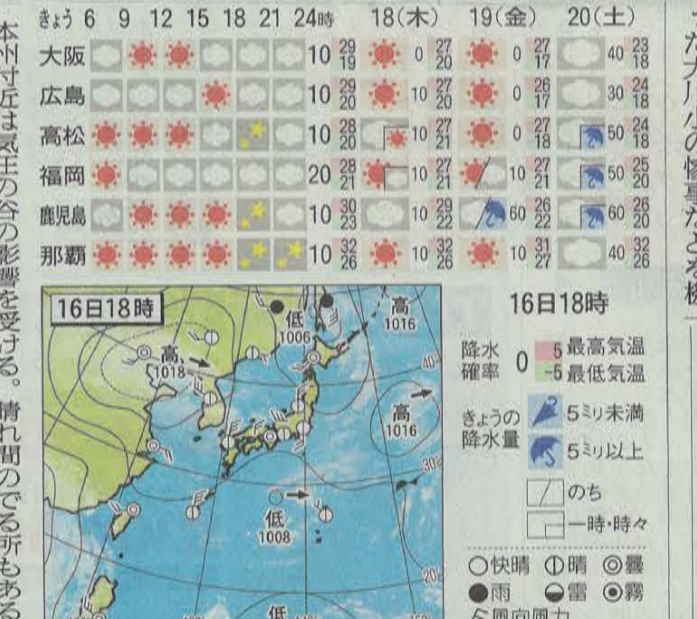
大川小の検証委員会で委員長を務めた室崎益輝・神戸大名大学教授の話。子どもを亡くした親は強い悲しみのため、表立った活動にま

に生かされることで私自身も助けられた。愛知県碧南市の栗並えみさん(35)は、10年に、1歳だった長男寛也ちゃんを亡くした。保育所で食べていたカステラを、のどに詰まらせた。事故のとき、保育所は「保育士が横にいた」という報告書をまとめた。だが、栗並さんが原因究明のため何度も保育所に足を運ぶと、実際は近くにいなかったことを認めたといい。その後、国や県に検証の重要性を繰り返し訴えた。その結果、保育施設での事故防止策を考える政府の有識者会議が発足し、今年9日に初会合があった。「事故後にまともな調査がされていない。検証し、再発防止につなげるべきだ」と栗並さんは訴えた。

日本スポーツ振興センターによると、保育園や幼稚園、小中学校での死亡事故で災害共済給付金が支払われたのは、05年度が82件。その後も70件前後が続く。東日本大震災で宮城県石巻市で多くの子どもが亡くなった大川小の惨事などを機

相次ぎ、各地の消防などによると、埼玉県鴻巣市内の建築現場で1枚約25センチの石膏ボード(1枚×2枚)が約20枚倒れ、作業員の男性(40)が背骨を折る重傷。群馬県沼田市では女性(75)が腰の骨を折るだけをした。

東京都八王子市内の保育園では陶器の破片で女児(5)が左足を切るけがをし、埼玉県熊谷市の小学校で木製のほしごが倒れて5年生女子(11)が頭部に軽いけがを負うなどの被害があった。



Advertisement for 'Daigaku Zeminaru' (四谷ゼミナール) featuring a phone number 03-3355-0005 and details about their courses and services.

Advertisement for 'Mariah Carey' (マライア・キャリー) featuring the text 'The Elusive Chanteuse Show' and '8年ぶりの来日公演' (8-year hiatus return to Japan performance).